

小柴貯油施設跡地での工事事務について（第二報）

現在、救助活動の早急な再開に向け、作業員が転落したと推測される貯油タンク内に溜まっている水（濁った雨水等（推定 約 10,000 m<sup>3</sup>））の排水作業の準備を進めています。

あわせて、救助活動に伴う二次災害の防止策（立入禁止柵等）を進めます。

【8月26日（水）のこれまでの対応と今後の予定】

- 6：00～ 施工者及び監督者（横浜市環境創造局）による現地調査開始
- 7：30 作業方針策定
- 10：30～ 施工者による作業ヤードの整備開始（重機3台）
- 14：00～ 排水ポンプ現地着 5台（1台あたり：揚程35m、能力1.5m<sup>3</sup>/min）  
以降、準備が整い次第、排水作業を開始

排水作業には、24時間程度を要します。

救助再開は、屋根の崩落等、二次災害の危険がなくなった後に行います。

【現地 案内図等】

裏面のとおり

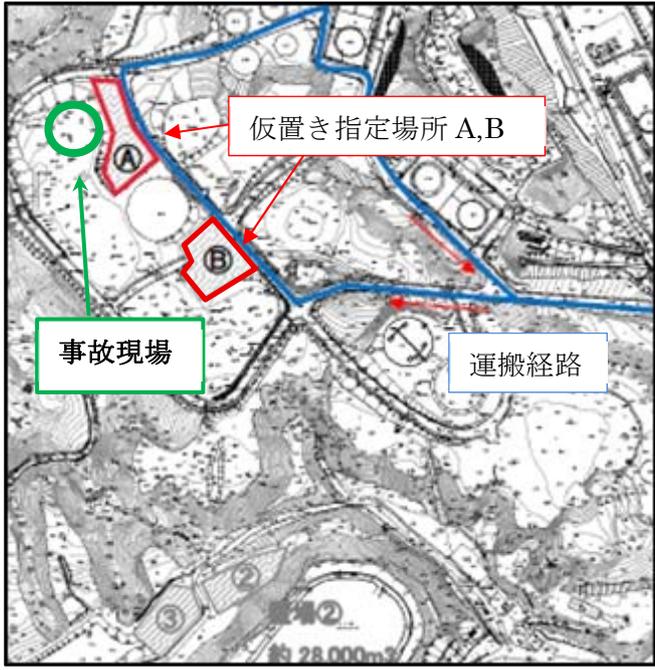
お問合せ先	
環境創造局下水道施設整備課長	石井 智博 Tel 045-671-2815

裏面有り

案内図



平面図



現地写真

